

長寿命化計画・ストックマネジメントに関する調査研究

調査研究年度

2009年度～2010年度

適正なストック管理

(目的)

施設全体を俯瞰して施設全体の管理に取り組む下水道施設のストックマネジメント（以下、SM）に関しては「下水道事業におけるストックマネジメントの基本的な考え方（案）」が平成20年3月に発行され、これに基づいて取り組んでいる自治体もある。

本研究は、自治体のSMの取り組み等を踏まえながら、下水道施設全体のSMについて具体的な手順や手法、SMと下水道長寿命化計画との関係を明らかにすること目的とした。

(結果)

本編と参考資料編から成る「下水道施設のストックマネジメント手法に関する手引き（案）」を作成した。

【本編】

○SMの概要説明

○導入準備

- ・ マネジメントのPDCAサイクルに入る前に準備すべきプロセスとして設定した。
- ・ 図-1に示す項目について既存の情報を用い、全体の概略を把握することを示した。

○準備後のPDCAの解説

- ・ 上下水道のアセットマネジメントに関する国際会議（ISO/TC224/WG6）の動向も踏まえ、リスクの検討によって優先順位付けを行うことを位置づけた。
- ・ 効率的・効果的な点検・調査並びに改築修繕を行うことを示した。
- ・ 計画については、下水道施設全体について長期的（20～30年以上）な見通しを立て、その見通しに基づいて短期的（5年程度）に事業を実施する施設についての詳細な計画（下水道長寿命化計画）の策定を行うことを示した。

【参考資料編：手法の詳細や具体的な事例を掲載】

○導入準備編

○管路施設管理編

○処理場・ポンプ場施設管理編

(今後の課題)

SMには、会計手法等の財源管理の要素を含んでいない。自治体にとって、財源管理は重要な事項であることから、それらを含むアセットマネジメントへの展開手法の検討が必要である。

受託研究：国土交通省都市・地域整備局下水道部からの受託研究

問い合わせ先：研究第一部 森田 弘昭，多田 明男，金盛 高之【03-5228-6597】

キーワード

長寿命化計画，ストックマネジメント，リスク，ISO/TC224

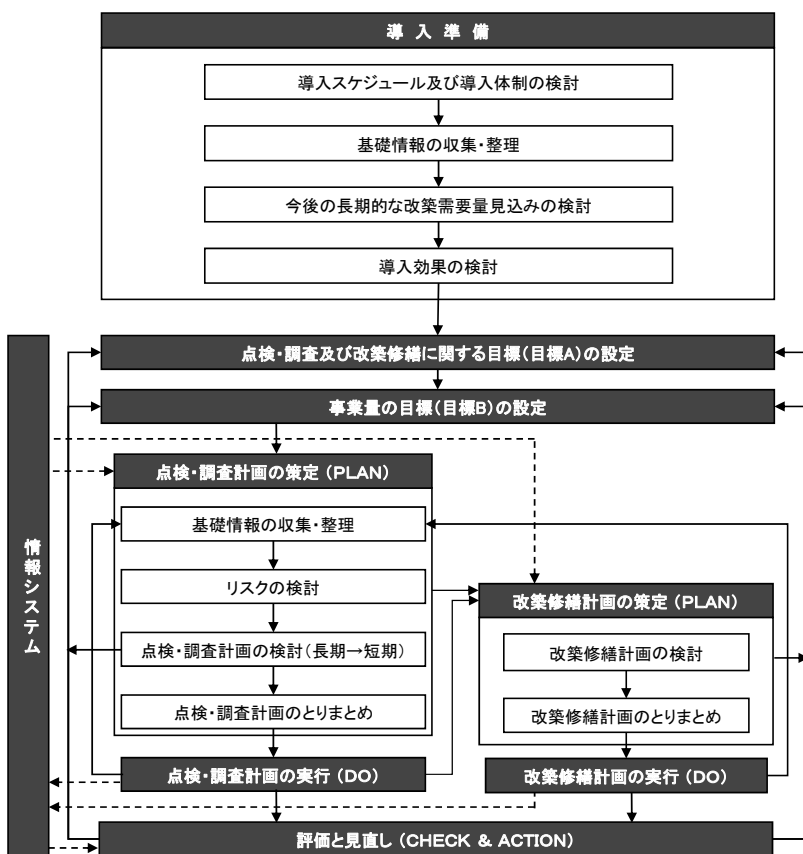


図-1 スtockマネジメントの導入準備・目標設定・PDCAフローの例(既存施設の点検・調査及び改築修繕に関して)